

文芸

短歌

米納三雄 選

日めくりを一枚剥ぎてしづかなる老いの暮らしのひとは
じまる

寺迫 首藤ユキエ
ごわごわのジーパン穿きいし子も巢立ち干し物かろしと竿
が寂しむ

広崎 三浦タエ子
採りたての海の息吹の初若布湯通しすればさつと春の彩

安永 守住 孝子

満月の冴えて明るく差す庭に今が盛りと梅の花咲く

広崎 宮崎 逸雄

雲一つ無き大空を濃紺のヘリコプターが行き戻りする

広崎 松原まゆみ

朝々と霜降り続く如月に日に日に伸びる青菜逞し

広崎 山崎 縫子

マンドリンの音色は澄みて垣根越え沈丁花の香のせて我楽
します

安永 山下たか子

雛様に一年間の無沙汰言いお飾りすれば部屋の花やぐ

惣領 島田 廣子

開花便ニュースに聞けど吾が里の桜の花芽ツンツンとがる

砥川 福馬たづ子

日本の農政ゆえか畑には大豆が熟れて爆ぜて散らばる

宮園 金子フム子

霜解かす春のやさしき朝日浴び白梅つくつく目白飛び交う

木山 増岡 伸禧

夕ぐれにあかねの空を雁の群れ早くねぐらに帰らむと飛ぶ

広崎 二本 澄子

俳句

富永小谷 選

沈丁の風に仄めく闇ふかし

吹きを洩らし木立の芽吹きをり

父の歳疾うにこえしが春田打つ

初音きく祠の花を換えをれば

一隅を菜の花畑にしてしまふ

手に軽し春あけぼのの旅鞆

日にあそぶ辛夷天使の羽根かとも

春炬燵老いどち齡あげつらひ

風岬仔馬いとしむ旅にして

実桜の花もこよなし昼の雨

宮園 丸野 紀子

田原 佐藤 澄世

秋永 福岡ふさえ

上陳 松本 昭子

惣領 山本みな子

馬水 松本みどり

宮園 久保すま子

上陳 永田己智子

赤井 西たかもり

馬水 西村ハツエ

狂句

田上富岳 選

あれもこれも だご汁までもあちらもん

あれもこれも 人に押しつけのほほんと

あれもこれも 欲しかバツテン買いきらん

あれもこれも 見栄が買わせた物ばかり

あれもこれも 見渡す限り自分がつ

偉そうに 嫁子供まで親父似て

偉そうに 腹は立つけど歯がたたん

偉そうに 青二才の癖見下げとる

偉そうに 自慢話は酒がさす

偉そうに 借家に外車デンと据え

広崎 宮崎 逸雄

下陳 山田 凡骨

寺迫 新村 典子

田原 野口 鈍輝

島田 秋月 光晴

宮園 西田 流水

寺迫 吉村 丸正

宮園 岩本四五六

惣領 小森英美子

木山 増岡 酔粋

狂句次号の課題 「ランドセル」さびしい

投稿は役場広報係まで。毎月15日まで必着。
(数種に投稿される場合は、別にしてください。)

憲法週間を 迎えて

「裁判員制度の実施に向けて」

5月3日は憲法記念日です。裁判所では、毎年、この日を中心とした5月1日から7日までを「憲法週間」と定め、法務省、検察庁、弁護士会の協力を得て、講演会や無料法律相談などいろいろな行事を行っています。

さて、国民の皆さんに刑事裁判に参加していただく「裁判員制度」の実施が約1年後に近づいてきました。裁判所では、一般の方々のご協力も得て模擬の裁判員裁判を重ね、いろいろなご意見を伺いながら、より分かりやすい刑事裁判の実現を目指しているところです。

全国各地で行われている憲法週間記念行事においても、模擬裁判や各種説明会など、裁判員制度を取り上げた催しが企画されています。裁判員制度についてより深く知っていただくための機会にいただければと思います。

裁判員制度の詳細については、裁判員制度ウェブサイト

(<http://www.saihanin.courts.go.jp/>)で、各地の裁判所の催しについては、裁判所ウェブサイト

(<http://www.courts.go.jp/>)で紹介しています。ぜひご利用ください。